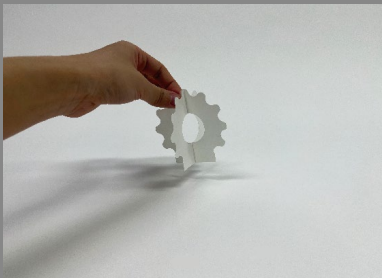
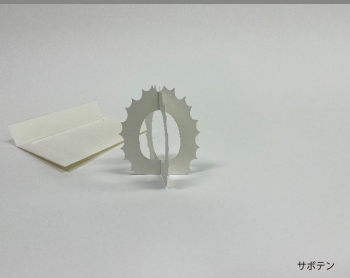


学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2022年	
受賞タイトル	奨励賞	
区 分	Ⅰ．商業ディスプレイデザイン	
フリガナ	オオノ アヤカ	
制作者名	大野 彩佳	
フリガナ	タマビジュツダイガクビジュツガクブカンキョウデザインガッカ	
大学・学部・学科	多摩美術大学美術学部環境デザイン学科(2022年3月卒業)	
フリガナ	ウチハラ サトシ	職名
推薦者名	内原 智史	非常勤講師
作品名	ここのか	
概 要	『ここのか』とは 香りで気持ちを満たえるプロダクトと体験サービスを提供するブランドです。 香りには力があります。 嗅覚は五感の中でも最も敏感に感知していると言われているものです。 香りは、無意識にイメージを伝え、記憶を呼び起こします。 『ここのか』はそんな香りをもっとおジュアルに、文字を使う様に、 コミュニケーションツールとして使って欲しいという思いから生まれました。 店舗デザイン 今回設置したものはこれから展開する店舗空間の模範例。 独立した光の空間は、同じ場所にあっても違う空間の奥まりであることを意味している。 よくある店のように視覚的な情報をはんばりたものではなく見せるのは最終的にし、客の行動を大切に。 視覚を制限する事で嗅覚にも意識を向けさせる意図がある。 ここのか の 香 利用方法 ここのかの店頭には作業台があるため、 1セット購入することで その場で全種類をご利用になれます。 1. カオリを1〜3つ選んでピンセンにつけます。 2. あとは普通の手紙と同じようにピンセンを封筒に入れ封じ、 宛あて名と切手をはります。 3. 授かんはご自身で行うかスタッフに預けることができます。 ※スタッフによる代理授かんは1日1回、定時刻に行われます     サボテン 花 苗木 小さい木 (丸) 小さい木 (角) ここのかの便せんは5つあります。 便せんは紐いた手紙から取り出しひらけば、自立し、机の上で香るオブジェとして楽しむことができます	

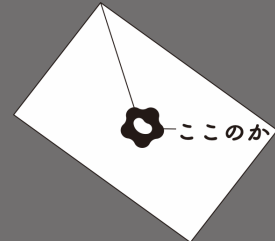
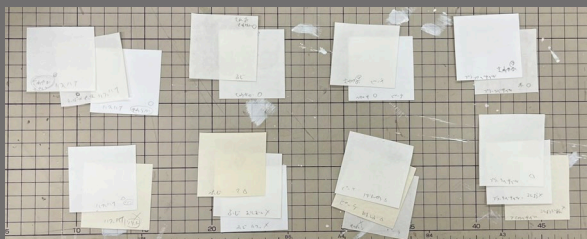
製作者名	大野彩佳
作品名	ここのか
【コンセプト解説】	



シール

ロゴにも取り入れたシール

香るもの＝花、心＝ハートから着想。女性らしいとして認識されたいよう、一般的なものよりもシルエットをなだらかにし、一見した時のそれらしさを弱めたデザイン。



子供の頃からにおいに興味があった。

キンモクセイなどは小学校に植わっていたりするので、好きな人も多い。

しかし、花のような「良い香り」以外にも、ガソリンや本の印刷や新築のにおいは私の中にノスタルジーの象徴として存在する。

人は表現する。その一つに文字がある。

プロではなくても、趣味で小説や詩を書く人々は多い。

また、絵も表現方法として広く認識されている。

私自身も文字で感性や気持ち表現することは非常に苦手であり、詩などは授業で強制されない限り書かないなど避けがちであったが、絵を描くことは好きだった。

ダンス、音楽、演劇、手話……個人で行える表現方法は沢山ある。

しかし、香りはどうだろうか？香りの代表的なものとして香水がある。

ネットで検索すれば、関連ワードとして「モテる」などがサジェストされ、

主にセックスアピールのな使われ方をしているといえる。

たしかにいいにおいのする人は魅力的だ。

反対に、消臭剤もとても身近である。嫌な臭いは不快感を与える。

アロマなど、個人で楽しむために使うものもあるがあくまで本人だけである。

つまり、対人に置いて香りは身だしなみの一環なのだ。

そこで、香りを文字と同じように

純粋なコミュニケーションツールとして使うためのプロダクトを考えた。

このブランドによって、このコミュニケーション法を新しいカルチャーに加えたい。



ビンセンのデザイン

花束をもらった時には花瓶に生け直して飾る人が多いだろう。

紙についた香りは受け取ってからしばらく続く。開くだけで机の上においてインテリアとして機能する。

香料の主な原料であり、部屋の中にあるものとして身近な植物をモチーフにデザインした。

葉のないタイプは中央に穴を開けて風が通るようにした。

素材は新島の子和紙。なるべく着色してない紙数種類に、それぞれ違うタイプの香りをつけ、

最も香り立ちのバランスが良かったものを選択した。